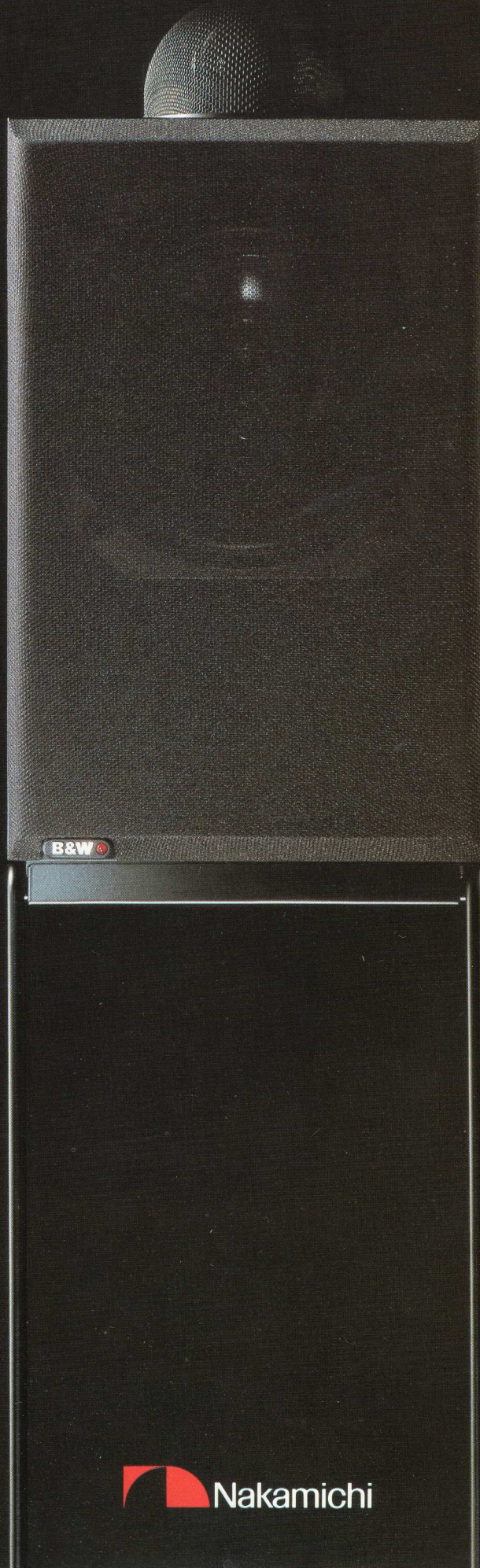


B&W/DM17



科学できわめ、感性で磨く。 B&Wサウンド・ポリシー

B&W社は、英国ウエスト・サセックスのワーシングという閑静な町に本拠を置くスピーカーメーカー。設立は1966年と、比較的新しい会社です。

わが国での知名度はまださほど高いとは言えませんが、欧米諸国での評価は絶大で、“現在最も進んだ技術と、高い音楽的センスを兼ね備えたトップメーカー”との地位をまたたく間に築き上げています。事実、同社のプレステージモデル801Fは、世界中のレコーディングスタジオからモニタースピーカーとして引っ張りだこ。それも、ドイツグラモフォン、デッカ、フィリップス、EMI、ロンドン、アルヒーブ、CBSといったそうそうたるメジャーレーベルが、801Fでモニターしてレコードを制作しているのです。

こうした実績はわが国のプロも知るところとなり、最近はやっとしたB&Wラッシュが続いています。ここで、B&W社のプロフィールをかいつまんでご紹介しておきましょう。特筆すべき点が、3つあります。ひとつは、技術的バックボーンを非常に重視する点。次に、開発スタッフが無類の音楽好きである点。最後は、当然ながら音がすぶるいいということです。技術的バックボーンでは、世界で初めてレーザーとコンピューターによる解析装置（レーザー・インターフェロメーター）を開発するなど、高度にシステム化された研究開発体制にはすでに定評のあるところ。しかし、それ以上に注目すべき点は、やはりスタッフの音楽的感性の鋭さでしょう。

生の楽器の響きを知る人間が、ハイテクノロジーを駆使するからこそ、優れたオーディオプロダクツが創造できるのです。ことに、社長であり、チーフエンジニアでもあるMr. ジョン・パウアーズは熱烈な音楽愛好家。英国の風土にも育まれた彼の音楽的感性は、技術という冷たい道具を大胆に起用しながらもB&Wスピーカーの音質を人間的な響きの豊かなものへとリードしてきました。そして、この音が驚くほどのスピードで世界中にファンを生み出し、B&W社は英国産業界で最高の栄誉とされる輸出貢献企業賞を女王から2度にもわたって授与されているのです。ところで、こうしたB&W社のプロフィールがNakamichiときわめてよく似ていることにお気づきの方も多きことでしょう。事実、高度な技術力、充実した開発設備、音楽好きのエンジニアたち…と、NakamichiとB&W社は多くの共通項をもっています。Nakamichiはこうした企業ポリシーの一致に親しみを覚え、B&W社のスピーカーのすばらしさをぜひ日本のオーディオファイル諸氏に知っていただきたいと考えたわけです。



Nakamichi本社内の試聴室でリファレンス・モニターとして活躍する801FとDM17。



2度にもわたって授与された女王賞。



レーザーとコンピューターによる振動体解析試験。



フルサイズのモニタースピーカーとの比較試聴を望みます。 B&WミニモニターDM17

「ミニは、しよせんミニ」—— 日頃こんな思いを抱いておられるオーディオファイルほど、DM17を初めて聴いた時の驚きは大きいようです。そのサイズに似合わぬ重厚な低音域、目に見えんばかりに鮮やかな音像定位、高域のディスペーション(広がり)の良さ——。これまでミニスピーカーの超えがたい壁とされてきた課題がことごとく解決されていることに、少なからぬショックを受けることはまず間違いありません。しかし、聴き込むにつれ、DM17が音楽そのものの自然な姿を鏡のような正確さで映し出していることにお気づきになるはず。そして、低音の量感は…、高域の粒立ちは…といった、音楽をバラバラにしてしまうような聴き方をさりげなくかわし、DM17は知らず知らずのうちにあなたを音楽の奥深くまで引き込んでしまうはずです。——この魔法のような力こそ、DM17の本当の驚異というべきでしょう。単にミニサイズの限界を超えただけでなく、DM17は並外れてアキュレイトな音楽再生力を秘めているのです。まさしく、あのB&W 801Fで達成された技術的成果を直接的に継承したミニモニターです。限られたスペース内で使用しうるモニタースピーカーとしてのパフォーマンスをあらゆる角度から煮つめ、さらに徹底したヒアリング・テストによって鍛え上げたB&Wの快心作——DM17。801F同様、すでに世界中のレコーディングエンジニアやオーディオファイルが、このDM17をミニモニターとして採用しはじめているのも当然のことといえましょう。フルサイズのモニタースピーカーと比較試聴をしていただいて、その実力のほどをご確認ください。

ドライバーユニット

150mm口径ウーファーのコーン素材には、801Fのウーファーと同じダンピング処理を施したベクストレーン材を採用。ベクストレーン材は結晶性が大きく剛性も高いポリマー製で、かなりの低周波数帯域でもライブサウンドと同等の音圧レベルを再現し、音楽再生にとってもっとも重要な中低域をがっしりと支えます。ツイーターは、26mm口径ドーム型。ダイアフラムはポリエステル繊維を編み上げたもので、周波数特性は可聴帯域外まで素直に伸びており、透明感あふれる繊細な高域を再生します。このユニットは801Fのツイーターと同一で、強力なマグネットを採用して体積をぎりぎりまで小さくし、さらにエンクロージャーのトップパネルにマウントしたことにより、音像定位を乱す回折現象を防ぎ、ディスペーションを大幅に改善しています。しかも、ツイーターとウーファーを同位相となるように配置し、これに対応してクロスオーバーネットワークで遅延補正を行っているため、音波は全く均一な球面波としてリスナーの耳もとに届きます。こうした処置により、DM17は上下左右前後に広がる3次元的な音場の広がりや鮮明な音像定位を実現しているのです。なお、DM17はコンピューターによる計測で特性差が±0.5dB以内のドライバーユニットがワンペアとしてアセンブルされ、その1台1台に測定データが添付されています。

クロスオーバーネットワーク

クロスオーバーネットワークの設計は、801Fの開発段階に確立された「数値最適化設計」の技法を導入。コンピューターによるシミュレーションで理想的な回路定数を割り出し、さらに厳選されたパーツを用いて、望みうる限りの高精度化が実現されています。その結果、全周波数帯域にわた



る均一な音圧レベル、正確な位相特性、シメトリカルな軸上垂直特性、理想的なインピーダンス特性を得て、システムとしての完成度を高いものとしています。

スピーカープロテクション回路

DM17には、過大入力からユニットを守るB&W独自の電子回路構成によるプロテクション回路= APOC (Audio Powered Overload Circuit) システムが内蔵されています。APOCシステムは、各ユニットのボイスコイルに加えられる電圧を読み取り、限界を超えるとリレーを動かして瞬時に入力信号をカット。オーバーロードによる熱破損を未然に防ぎます。APOCシステムの作動中は赤いLEDが点灯。



オーバーロード状態が過ぎると、自動復帰して音楽再生を開始します。これにより、事実上DM17はいかなる過大入力にも耐えることができます。

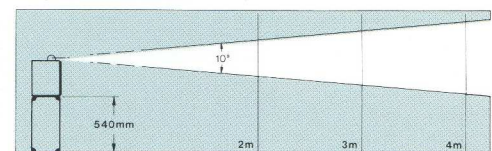
エンクロージャー

密閉型エンクロージャーは、12mm厚の高密度パーチクルボードと6mmのビチューメンパッドの2層構造に、19mm厚の前面バッフルアセンブリを組み合わせた高剛性設計。ユニットを含めた重量は、9.6kgにも達します。さらに、

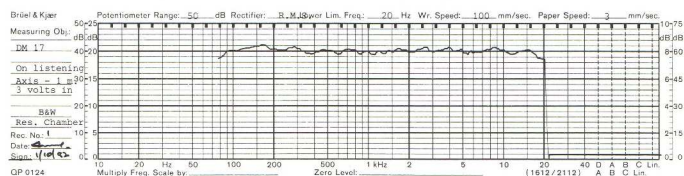
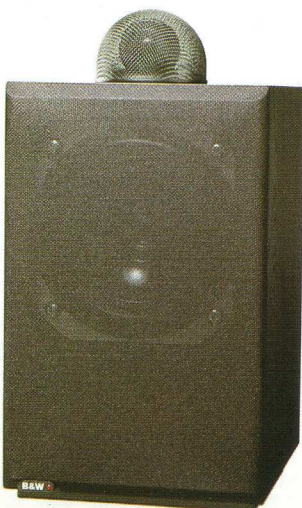
ウーファーはゴムガスケットによりエンクロージャーからアイソレート。振動の伝播をシャットアウトして、エンクロージャーの共振によるカラーレションを一掃しています。こうした高剛性、無共振設計により、トランジェント特性はめざましく向上しています。

セッティング

DM17は、いわばセッティング・フリーのミニサイズ。しかし、その性能をフルに発揮させるには、専用スピーカースタンドST17(オプション)の使用をお勧めします。専用スタンドにマウントし、ツイーターに対してタテ方向10°のリスニングエリアで聴く時、DM17はミニモニターの名に恥じないきわめてフラットでアキュレイトなパフォーマンスを示すよう設計されています。



●ウーファーのダイキャストフレーム前面はサテンクロームの美しいヘアライン・フィニッシュ。サラネットには、特に音の透過率が高いものを採用しています。ネットをつけて楽しむか、はずして楽しむか、お好みに合わせてお選びください。



DM17 周波数特性

DM17

Mini Monitor ¥89,000(1本)



写真は、DM17のウォルナット仕上げです。

B&W/DM17 主な規格

- ユニット構成…2ウェイ・2スピーカー ●エンクロージャー…密閉型 ●使用ユニット…中低域ドライバーユニット:150mmコーン型、高域ドライバーユニット:26mmドーム型(垂直インライン方式、遅延補正) ●クロスオーバー周波数…3kHz ●周波数特性…85Hz~20,000 Hz ± 2 dB(距離2m、正面、フリーフィールドで測定) ●インピーダンス…8 Ω ●過負荷保護回路…APOC(Audio Powered Overload Circuit)システム ●許容入力…出力15W以上のアンプに適合。APOCシステム内蔵のため、上限なし。 ●出力音圧レベル…85dB/W/m(300Hz)
 - 寸法…220(巾)×399(高さ)×270(奥行)mm ●重さ…9.6kg ●キャビネット仕上げ…ブラック又はウォルナット
- ※専用スピーカースタンドST17(¥18,000)は別売です。色は本体の仕上げに合わせてブラックとブラウンが用意されています。

このカタログは昭和58年7月現在のものです。